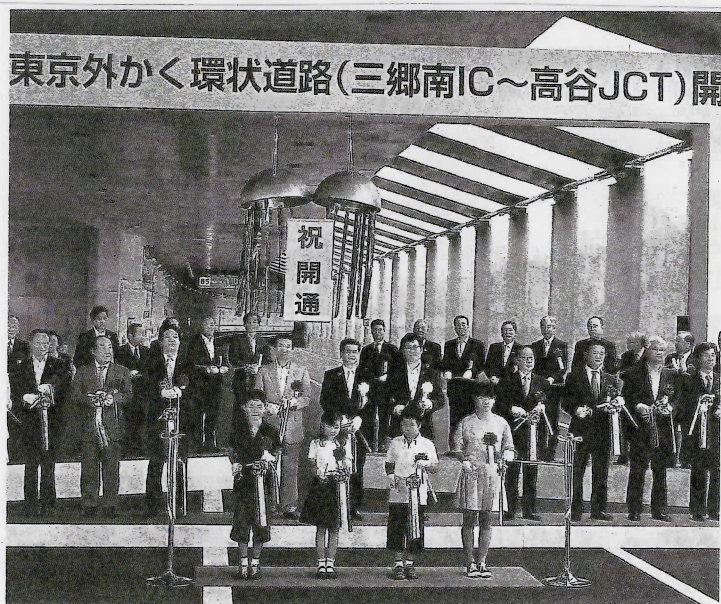


外環道高谷―三郷南開通

計画から半世紀祝う



東京外かく環状道路(三郷南IC～高谷JCT)開

テープカットで開通を祝う関係者ら (市川市で)

首都圏を環状に結ぶ東京外郭環状道路(外環道)のうち、高谷ジャンクション(JCT、市川市)―三郷南インターチェンジ(IC、埼玉県三郷市)間が2日、開通した。市川市堀之内の外環道では式典が開かれ、石井国土交通相や森田知事らがテープカットなどで、計画から約半世紀を要した道路の完成を祝った。

式典には、国交省や東日本高速道路、県、地元の市川、松戸市の関係者らが出席。石井国交相は「外環道の開通で、千葉の湾岸エリ

アと関東各地が東京都心を通ることなくアクセス可能となり、利便性、生産性の向上、広域的な観光交流の促進などが期待される」と述べた。同区間を並走する国道298号の開通にも触れ、「市川、松戸市内の慢性的な渋滞の改善や生活道路の安全性の向上に貢献できる」と強調した。森田知事は「スムーズな人と物の流れを生み出す道路網の整備に引き続き努めていく」と語った。

市川市大野町から埼玉県越谷市に車で通勤しているという会社員の紺野強さん(46)は「これまでは1時間かかっていたが、渋滞が分散して流れがスムーズになると期待している。埼玉県から観光で千葉県を訪れる人も増えるのではないかと話していた。